

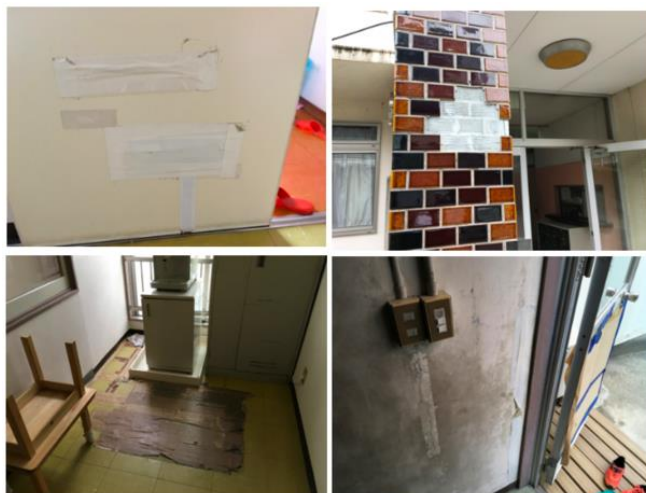
形が見えてきた 木のぬくもりが伝わる 新しい岡崎平和学園

施設は、子どもたちのニーズにあった、「できるかぎり良好な『家庭環境』」で子どもたちを受け入れることが必要とされています。

今の施設は、現在の児童養護施設に求められる設備と異なり、子どもたちにとってベストな環境ではない部分も多々あります。建物の老朽化や耐震化の問題もあり、2020年までに「できるかぎり良好な『家庭環境』」の施設へ、現在の場所から移転し、全面的に建て直すことになりました。



6畳ほどのスペースに2、3人で生活



いろいろなところが傷んできています

より子どもたちが暮らしやすい環境にするため、自分の部屋と仲間が集うリビングを確保した「自分だけの大切な場所」と「仲間と助けあう場所」をつくります。

また、生い立ちゆえに不安になってしまうことも多い子どもたちにとって、少しでも落ち着ける「家」になるよう、木のぬくもりを感じることができる生活環境を整えます。





